

展覧会事業

【本館での展覧会】

展覧会名	会期	入場者(人)	内容・関連事業
<p>1.コレクション展 あなたが選ぶ、本郷新のこの1点</p> <p>主催：本郷新記念札幌彫刻美術館 (札幌市芸術文化財団) 後援：北海道、札幌市、札幌市教育委員会、</p>	<p>2016/12/10(土) ～ 2017/4/9(日) 99日間 (H29年度/8日間)</p>	<p>1,745人 (H29年度81人) 有料 350人 無料 1,395人 有料率 20.1%</p>	<p>【内容】当館の所蔵する、彫刻家・本郷新の作品の中から《わだつみのこえ》など代表的な29点を展示し、来場者には特に気に入った作品に対する感想をカードに書いてもらい作品とともに掲示した。作品に対する想いを言葉に記すことによって鑑賞をより深めてもらうことができた。またそれと同時に、他者が残した言葉を通して、作品の多様な魅力に気づいてもらうことができた。</p>
<p>2.アフリカの仮面と彫像</p> <p>主催：本郷新記念札幌彫刻美術館 (札幌市芸術文化財団) 後援：北海道、札幌市、札幌市教育委員会、 協力：札幌彫刻美術館友の会</p>	<p>4/22(土) ～6/14(日) 52日間</p>	<p>1,919人 有料 1,177人 無料 742人 有料率 61.3%</p>	<p>【内容】札幌芸術の森美術館が所蔵するアフリカ美術のコレクションをまとめて展覧した。赤道周辺に暮らすアフリカ部族の成人や葬送等の儀礼に用いられた仮面や彫像など75点を展示し、20世紀の芸術にも多大な影響を与えた豊かな造形性を紹介した。</p> <p>【関連事業】</p> <p>① オープニングコンサート「アフリカンドラム“ジャンベ”の鼓動」 [日 時] 4月22日(土)①13:00～13:30 ②14:00～14:30 ③15:00～15:30 [会 場] 本館 展示室 [内 容] ジャンベ奏者茂呂剛伸氏ほか9名が展示室内で壮大なジャンベ演奏を披露。楽器体験のワークショップも実施した。 [参加者] 93人</p> <p>② ギャラリートーク [日 時] ①5月27日(土) ②6月11日(日) 各14:00～14:45 [内 容] 学芸員が展示室を巡りながら出品作品について解説を行った。 [参加者] 63人</p> <p>③ 札幌彫刻美術館友の会協力イベント・開催記念講演会「赤道アフリカの文化と造形」 [日 時] 5月14日(日) 14:00～15:30 [会 場] 本館 研修室 [講 師] 橋本信夫(札幌彫刻美術館友の会会長、北海道大学名誉教授) [内 容] 本展出品作品である札幌芸術の森美術館所蔵「橋本信夫・邦江コレクション」の寄贈者でもある橋本氏が赤道アフリカの文化や造形の魅力について講演を行った。 [参加者] 68人</p> <p>④ 札幌彫刻美術館友の会協力イベント・スペシャルトーク「思い出のリベリア」 [日 時] 5月20日(日) 14:00～15:00 [会 場] 本館 研修室</p>

			<p>[講師] 橋本邦江</p> <p>[内容] 夫の橋本信夫氏とともにコレクションを築いた邦江氏が、作品の収集を行なった当時のリベリアでの家族の暮らしや現地の人びととの交流について語った。</p> <p>[参加者] 78人</p> <p>⑤ 札幌彫刻美術館友の会協力イベント・友の会会員のウェルカムトーク</p> <p>[日時] 4月29日、5月6日、13日、20日、27日、6月3日、10日(土) 各 11:00~11:20</p> <p>[内容] 札幌彫刻美術館友の会で展示内容についての学習会を行い、学んだ内容をもとに会員が鑑賞のポイントなどを伝えながら来館者とともに展示室を巡った。</p> <p>[参加者] 129人</p>
<p>3. New Eyes 2017 家族の肖像</p> <p>主催: 本郷新記念札幌彫刻美術館 (札幌市芸術文化財団)</p> <p>後援: 北海道、札幌市、札幌市教育委員会</p> <p>協力: Zen Foto Gallery</p>	<p>7/22(土) ~10/1(日) 62日間</p>	<p>1,875人 有料 601人 無料 1,274人 有料率 32.1%</p>	<p><b>【内容】</b>本郷新が願った作家の育成を目的に、世界と向き合う作家の新鮮な視点を今日的テーマのもとで紹介する「New Eyes」シリーズの3回目。北海道を中心に活動する作家による、様々な家族の表現を展覧した。本郷新がゆるぎない母子の絆を表現した《嵐の中の母子像》を皮切りに、誕生、結婚、家族のもつネガティブな側面など、作家それぞれの視点で表現した作品を展示。現代アートによる作品を中心としていたことから、それぞれの作品を解説するパネルを設置し、鑑賞の手助けとなる工夫をした。会期が札幌国際芸術祭 2017 と重なっていたため、芸術祭を目的に各所をまわっているお客様の来館も多かった。地元で活躍する複数の作家の作品を一堂に観覧することができる展覧会として、札幌のアートシーンを広く紹介する役割も担うことができた。</p> <p>(出品作家) 今村育子、唐牛幸史、佐竹真紀、鈴木涼子、深澤孝史、門馬よ宇子、本郷新</p> <p><b>【関連事業】</b></p> <p>① アーティスト・リレー・トーク</p> <p>[日時] 7月22日(土)</p> <p>[内容] 出品作家本人が、自身の作品を前にコンセプトや制作背景等について語った。</p> <p>[参加者] 18人</p> <p>② アーティスト・トーク&amp;ワークショップ 子どもと一緒に楽しもう! はじめての美術館</p> <p>[日時] 7月24日(日)、30日(土) 10:30~15:30</p> <p>[会場] 道新プラザ DO-BOX</p> <p>[内容] 家族でアートに親しんでもらうことを目的に、出品作家によるアーティスト・トークとワークショップを行なった。</p> <p>[参加者] 22人</p>
<p>4. 記憶素子 -丸山隆と教え子たち-</p> <p>主催: 本郷新記念札幌彫刻美術館 (札幌市芸術文化財団)、 「記憶素子-丸山隆と教え子たち-」展実行委員会</p>	<p>第1期 10/7(土) ~11/5(日) 第2期 11/8(水)</p>	<p>1,706人 有料 450人 無料 1,256人 有料率 26.4% (11月末現在)</p>	<p><b>【内容】</b>北海道教育大学札幌校で教鞭をとった彫刻家・丸山隆(1954-2002)とその教え子たちによる作品を展示し、丸山の芸術性と思想を回顧しながら、新たな作品を生み出し続ける教え子たちの表現を紹介した。</p> <p>(出品作家) 第1期: 出田郷、北村哲朗、菅原尚俊、園田陽子、千葉有造、ナカムラアリ、野上裕之、藤本和彦、牧野秀昭、丸山恭子、武藏未知</p> <p>第2期: 秋山知子、安住賢一、加藤宏子、佐藤一明、坂本正太郎、春藤聡子、長谷川裕恭、藤田尚宏、富原加奈子</p>

後援:北海道、札幌市、札幌市教育委員会	～12/10(日) 55日間		両期共通:丸山隆  <b>【関連事業】</b> ① アーティスト・リレー・トーク [日 時] 10月22日(日) 13:00～14:30 [内 容] 出品作家が、自身の作品や師である丸山との思い出を語った。 [参加者] 67人 ② 親子でメタルアートを楽しもう!キーホルダーづくり [日 時] 10月29日(日) ①10:00～12:00、②13:00～15:00 [会 場] 本館 研修室 [内 容] 錫を低温で溶かして型に流し、メダル型のオリジナルキーホルダーを制作した。 [参加者] 48人 ③ ワインボトルのランタンづくり [日 時] 11月23日(木・祝) ①11:00～ ②13:00～ ③14:00～ [会 場] 本館 研修室 [内 容] ワインボトルを加工し、キャンドルを入れて使えるランタンを制作した。 [参加者] 15人
---------------------	-------------------	--	--

**【記念館での展覧会】**

展 覧 会 名	会 期	入場者(人)	内 容・関 連 事 業
1.本郷新と札幌彫刻美術館	2016/4/16(土) ～ 2017/4/9(日) 通年 (H29年度/8日間)	6,572人 (H29年度46人)	<b>【内容】</b> 本郷新の人となりや制作姿勢、本郷が夢を託した札幌彫刻美術館の歩みを、作品や資料によって紹介した。
2.本郷新の人と芸術	4/22(土)～ 通年	4,340人 (11月末現在)	<b>【内容】</b> 本郷新が手がけた野外彫刻の石膏原型や代表作を展示するとともに、各種資料により本郷新の人となりや制作姿勢を紹介。

入館者総数	4/1(土)～10/31(火)	12,104人
-------	-----------------	---------

普及・協力・利用促進事業等

	実施日	参加者(人)	内 容
子どもの文化芸術体験事業 ハロー！ミュージアム (彫刻美術館コース)	通年	計 1,223 (11 月末現在)	子どもたちに優れた芸術に触れる機会を提供し、豊かな感性をはぐくむことを目的に、札幌市の小学校5年生を美術館に招待して鑑賞活動を実施。各学校で美術館でのマナーや鑑賞する作品等についての事前学習を行った後、当日は彫刻美術館の本館・記念館・庭園で、学芸員や美術館協力員との対話による作品鑑賞とワークシートを組み合わせた鑑賞プログラムを実施した。
子ども育成事業 わくわく★アートスクール	①作品制作 6/6(火)～ 6/22(木) ②展示作業 (プレ・オープン) 6/27(火)～ 6/30(金) ③展覧会 7/1(土)～ 7/17(月祝)	①のべ 2,408 ②のべ 234 ③717	近隣の小中学校 3 校でアーティストを講師とした作品制作を行い、できあがった作品を彫刻美術館に持ち寄り、1つのインスタレーション作品として展示し、展覧会を行った。 [参加校]大倉山小学校、三角山小学校、宮の森中学校 [講師]伊藤幸子(彫刻家)、富士翔太郎(アーティスト)
学校協力	4～11 月	のべ 257 (11 月末現在)	三角山小学校 3 年生が総合的な学習の時間「彫刻美術館探偵」のために来館。学校と一体となりながら、授業の内容の検討や来館時の作品解説などの対応を行なった。
	6/22	51	聖心女子学院中等部彫刻清掃ボランティア受入
	7/11	99	宮の森小学校総合学習受入
職場体験受け入れ	① 10/19(木)、 20(金) ② 11/16(木)、 17(金) ③ 11/21(火)、 22(水)	のべ 6	近隣中学校の職場体験学習に協力し、生徒を受け入れた。 ①宮の森中学校 2 年生 2 名 ②啓明中学校 2 年生 2 名 ③向陵中学校 2 年生 2 名

夏休み子ども造形教室 ブロンズ粘土で彫刻をつくろう!	7/27(木)、 28(金)	36	小学校3～6年生を対象に本郷新のブロンズ彫刻を手本に、ブロンズ粘土で作品を制作した。 [講師] 川名義美(彫刻家)
美術館めぐり	10/13(金)	18	札幌彫刻美術館、芸術の森野外美術館、道立近代美術館をバスでめぐり、学芸員等の解説を受けて作品鑑賞を楽しんでもらった。
ナイトミュージアム	8/26(土)	42	開催時間を19時まで延長して市民の来館機会を広げ、各種事業を実施し、当館のPRと開催中の展覧会の入場者増を図った。 ①ギャラリートーク 当館職員が、開催中の展覧会「New Eyes 2017 家族の肖像」展の作品解説をした。 参加者数:8名 ②ミュージアムコンサート 開館時間を延長した17時から、親しみのある選曲で地元演奏者によるコンサートを行った。 参加者数:21名 出演者:浅井良子(フルート)、紅林さやか(ピアノ)
サンクスデー	6/11(日)	283	開館記念日直近の日曜日に観覧料を無料として来館促進を図るとともに、以下の各種催事を実施。 ①ペーパービーズづくり(60人) ②オリジナル缶バッチづくり(53人) ③ロビーコンサート「ギターの調べ」(70人) 出演者:藤垣秀雄(ギタリスト) ④ギャラリートーク(40人)
	11/3(金祝)	218	文化の日に観覧料を無料として来館促進を図るとともに、以下の各種催事を実施。 ①ペーパービーズのリースづくり(44人) ②紙ビーズアクセサリーづくり体験(30人) ③ちびっこ美術館探偵団(子ども向けギャラリートーク)(20人) ④本郷新のヒューマニズム(記念館ギャラリートーク)(26人)
連続講座 2017 ぶらり、彫刻散歩の休日	9/10(日)、 11/5(日)、 12/17(日)	9/10 21 11/5 20	彫刻鑑賞について学ぶ3回連続講座。 [講師]9/10 谷古宇尚(北海道大学教授)、11/5 神長敬(株式会社KITABA代表取締役社長)、12/17 山田のぞみ(当館学芸員)

## 本郷新記念札幌彫刻賞

	実施日	参加者(人)	内容
一次選考通過作品模型一般公開	①6/7(水)～ 6/10(土)、 ②6/13(火)～ 7/30(日)	①270 ②510	一次選考通過作品7点の作品模型を一般公開した。 会場:①道新プラザ DO-BOX ②本館・研修室、ロビー 一次選考通過作家:加藤宏子、北川太郎、国松希根太、佐藤一明、田村純也、ダム・ダン・ライ、藤沢レオ
二次選考結果発表・講評会 「フォーラム～これからの彫刻を考える」	6/10(土)	32	一次選考通過作品7点の候補作品から受賞者を決定。結果発表後、各選考委員より、選考を振り返っての感想や今後の彫刻芸術の展望などについて講評を行った。 会場:道新プラザ DO-BOX 受賞者:加藤宏子(札幌市) 選考委員:酒井忠康(世田谷美術館館長)、建畠哲(多摩美術大学学長)、植松奎二(彫刻家)、阿部典英(美術家)、佐藤友哉(札幌芸術の森美術館館長)、寺嶋弘道(本郷新記念札幌彫刻美術館館長)
授賞式	7/13(木)	27	札幌市長より受賞者へ賞状と副賞を授与した。 会場:本館・研修室

## 貸館事業

	実施日	入場者(人)	内容
新制作展－北海道ゆかりの作家たち展	6/17(土)～ 6/25(日) 8日間	478	新制作展の会員で北海道にゆかりのある作家たちによるグループ展。彫刻・絵画等複数ジャンルの作品により構成。 出品作家:板谷論使、木滑美恵、塚崎聖子、大橋弘子、加賀谷健至ほか計 19 名

## 広報

ホームページ、ツイッター(10月末現在 フォロワー3,577人)、フェイスブック(10月末現在 いいね! 669件)、地下鉄掲示板ポスター掲示、広報さっぽろ等の媒体の活用および宮の森地区連合町内会、近隣小学校への案内配布を通して、広報活動につとめた。

今年度これからの予定

事業名	実施日	内容
コレクション展 ふれる彫刻・手でみるアート	12/16(土)～2018/4/15(日)	当館所蔵のブロンズや木や石の彫刻に手でふれて鑑賞する展覧会。目で見るだけではわからない素材の質感や量感、立体感をじっくり味わうことができる展示とする。
さっぽろ雪像彫刻展 2018	1/26(金)～1/28(日)	さっぽろ雪像彫刻実行委員会との共催で、本館庭園を会場に、市内の造形作家等による雪の彫刻作品を展示する。
子どもの文化芸術体験事業 ハロー！ミュージアム (彫刻美術館コース)	12/19(火) 視覚支援学校 1/30(水) 大谷地東小学校	視覚支援学校、大谷地東小学校
学校協力	今年度中に複数回	三角山小学校 3 年生の総合学習「彫刻美術家探偵」への協力を引き続き行う。
冬休み子ども造形教室	1/10(水)	ペーパーキリングの技法を用いレリーフを作成。 講師：川名義美(彫刻家)
おとなの造形教室	2/17(土)	芸術の森クラフト工房専門員を講師としたワークショップを実施。
美術館めぐり	3/14(水)	札幌彫刻美術館、芸術の森美術館、道立近代美術館をバスでめぐり、学芸員等の解説を受けて作品を鑑賞するツアー。
3 日間だけのことに美術館 彫刻家・本郷新展	2/9(金)、10(土)、11 日(日)	西区民センターと連携し、当館所蔵の本郷新の彫刻作品を展示し、本郷新の魅力を市民に広く紹介する。また、詩の朗読とギター演奏、講演も行う。
第 2 回本郷新記念札幌彫刻 賞受賞作品設置	2 月除幕式	大通交流拠点地下広場に加藤宏子氏による受賞作品《improvisation ～うけとめるかたち》を設置、除幕式を行う。